

発行日：平成14年1月1日  
発行所：法雲寺  
発行者：吉川広隆

東林山 法雲寺

〒667-1311兵庫県美方郡村岡町村岡2365  
TEL：0796-98-1151 FAX：0796-98-1161



# 法雲寺報

<http://www2.nkansai.ne.jp/org/houunji> Eメール：[hounji@io.ocn.ne.jp](mailto:hounji@io.ocn.ne.jp)

## 新年明けましておめでとうございます。

**新**年明けましておめでとうございます。

旧年中は公私共に皆様方のお世話になりました。本年も昨年同様お付き合いのほどをよろしくお願いいたします。

さて、21世紀最初の年でありました平成13年は皆様にとってどのような年であったでしょうか？21世紀と言えば幼いころは「夢と希望に満ちた新しい時代」と思っていたのですが、実際には「不安と恐怖と疑心に満ちた時代」となっていました。

親が我が子の命を・・・

子が我が親の命を・・・なんてことはニュースを見れば一週間に何件も報道され、その報道を見ている私たちも「またか・・・」とそんな信じられないような事件事故に慣らされてきました。また、同時多発テロの事件や、アメリカの報復戦争の例を見ても、人の命というものが第三者の意思によって「処理」をされてしまう。

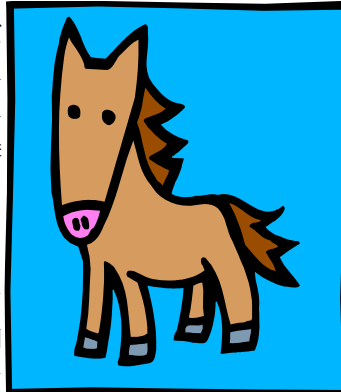
本当に「命」と言うものの価値が安っぽくなった一年でした。新しい平成14年も昨年同様の殺伐と

した世相となっていくのでしょうか？

断言は出来ませんが・・・昭和・平成と右肩上がりになり成長してきた世の中です。人々の心の中にわかまかった不満や怒りは経済（お金）という形に姿を変えて、その不満や怒りを吸収して分散させて

てきました。しかしこの先の見えない長期的な不景気です。どう考えても経済（お金）に心の救いを見出すことは無理な話ですし、心の平安はお金では買えないことに多くの方々が気付いて来ていると思います。今こそ価値判断の基準を根底から変えるべき時に来ているのかも知れません。

世の中全ては無理にしても、せめて我々が日常暮らしている場面では、安心して暮らせる、人間が人間を信頼できるそのような世の中にしていきたいものです。私も一僧侶の端くれとしてお寺や仏教というものが「地域社会の役に立つか？」模索して行きたく思っています。何か良いヒントがあれば、ご教授ください。



**ファット・・・広告**  
● ホームページの作成  
● パソコンの操作指導  
させていただきます。  
お気軽にご相談ください。

## 法雲寺報を発行したいと思います。

**今**から30年くらい前になるでしょうか、前住職（吉川廣昭）が時折、ガリ版印刷機で「法雲寺報」を印刷していたことを覚えています。鉄筆で原稿を手書きし、印刷機にセットしてコールドロールのような黒いインクをローラーで伸ばして、寒い廊下で一枚一枚印刷していました。そんな風景を記憶しています。

平成13年度中には皆様のお陰をもちまして、「本堂裏屋根の工事」を無事完工することが出来ました。

その折に感じたことなのですが、地元地区役員様

のご尽力で「本堂裏屋根工事の重要性」について、地元村岡の檀家の方々にはご説明が十分に出来ていたのですが、遠地の方々には説明が不十分であったように反省をしております。

幸い、技術の進歩で父親の時代のように苦勞してガリ版印刷をしなくても寺報は発行できる環境です。

お寺と有縁の方々とのコミュニケーションの一つとして本年度は不定期になるかも知りませんがお寺の行事や出来事などを盛り込んだ「法雲寺報」の発行を心がけて行きたく思います。



### 新年ご祈祷札のご配布

**例**年、変わり映えのしないことですが、新年のご祈祷札をお配りいたします。

この札は12月31日（平成13年）に各檀信徒各家の安穩と、法雲寺の山内安全を祈願し護摩供を厳修致しました折に、祈祷させて頂いております。お配りいたしました折には、柱やお仏壇の隅などにお貼りいただければ結構です。

尚、古いお札に関しましては、「ドンド」の神事の際などに出して頂くか、大きな寺社などでは古いお札を奉納する場所もございますので、初詣の折にでもご持参されれば結構かと思ます。また、同封いたしております「お年賀」のコブラン織の干支マットですが、業者の方のお話によりますと、「2枚のマットを縫い合わせて巾着袋を作ったり」、「幾つかのマットを組み合わせて壁

飾りや暖簾などに使える」・・・と「大好評を頂いている」（らしいです??）

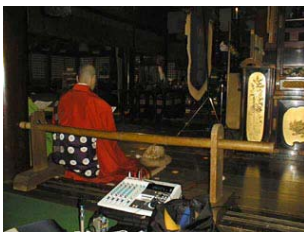
そのままマットとして使用していただいても結構ですが、いろいろと使い道があるようですので、工夫して使用してみてください。

### 福聚会、御詠歌研修会に参加

**11**月27～28日（平成13年）温泉町・巖山寺で但馬地区の御詠歌研修会が開催され、法雲寺福寿会より5名の方々が参加されました。そのうち3名の方々は28日に実施された「検定試験」に臨まれ、日ごろの練習の成果を見事発揮され、受験した3名皆さん合格されました。今後とも御詠歌に精進されますようご期待申し上げます。



お年賀コブラン織マット



法要収録の様子

### しょうみょう 天台聲明CDのご紹介

去る、平成13年11月29日～30日に比叡山延暦寺・大講堂を主会場に「天台仏教青年中央研修会」が催されました。今回の研修会では各教区の代表が練習を重ねてきた法要を発表しあう場となりました。その成果を記録したCDを作成しております。「法要のCD?」「お経のCD?」なんて・・・と思われるかもしれませんが、「BGMとして」、「日本伝統の音楽として」、「ヒーリングの音楽として」・・・興味を持って聴かれる方が増えてきているらしいです。もし、ご興味ございましたら、住職までご一報ください。1枚1000円程度で配布いたします。

### 法雲寺ホームページのご紹介

法雲寺では平成9年からホームページを開設して運営を行っています。主な内容は山名史料館の紹介・法話・お寺の歴史・トピックス等を掲載しています。前述の天台聲明もホームページ上で聞くことが可能になっています。パソコンでホームページを閲覧される機会がございましたら、是非一度ご覧ください。

URLは

<http://www2.nkansai.ne.jp/org/houunji>  
Eメールは、[hounji@io.ocn.ne.jp](mailto:hounji@io.ocn.ne.jp)です。

### ご協力よろしくお願ひいたします

既に工事報告・協力依頼等でご周知の事かと思ひますが、「本堂裏屋根修理事業」の件、ご協力をよろしくお願ひいたします。地元檀家の方々に付きましては、全戸ご協力を頂きました。遠地の皆様に関しましては1月末日を目処にご協力をお願いいたしております。出費多端の折とは存じますがご協力よろしくお願ひいたします。



改修後の裏屋根

### 今月の予定

12月31日	除夜	法雲寺
1月3日	お札配り	
1月17日	阪神大震災慰霊行脚	神戸
1月18日	相応峰寺護摩供	浜坂
1月21日	全日仏青理事会	名古屋
1月下旬	総代会（予）	法雲寺
1月30日	法雲寺護摩供	法雲寺

編集後記  
平成十四年度の年頭のご挨拶をあれこれ考えているうちに「法雲寺報」の発行しようと思ひました。隔年発行の間、分りませんが、今年度は発行を心がけて行きたく思ひます。思い通り編集を行っていただき、ご意見等がございましたらお気軽にお知らせください。メールアドレスは [hounji@io.ocn.ne.jp](mailto:hounji@io.ocn.ne.jp) です。